玉井保育所の利活用に関するサウンディング型市場調査　実施結果概要

１　調査の名称

玉井保育所の利活用に関するサウンディング型市場調査

２　調査の目的

本調査は、サウンディング型市場調査（以下「サウンディング」という。）として、民間事業者等からの幅広い視点によるノウハウや事業アイデア等を募集し、対話を通じて意見交換や情報収集を行うことにより、玉井保育所の利活用方針を決定するための課題等を整理することを目的に実施したものです。

３　サウンディングの対象

所 在 地	熊谷市玉井２１０５番地１ほか
土地面積	１３１２．０２㎡
建物概要	構造：木造平屋　　延床面積：３５１．０８㎡ 建築年度：昭和４７年度　　耐震性能：耐震診断・補強とも未実施

４　サウンディングの経過

令和７年１０月　１日　　実施要領の公表
令和７年１１月１２日　　個別対話の実施
令和７年１２月　５日　　実施結果概要の公表

５　個別対話の参加者

２者（法人）

６　サウンディング結果の概要

事業の内容、整備する施設の内容等に関する提案	⑴ 地域型保育施設（小規模保育所）の設置を提案する。 ⑵ 障がいのある子どもたちのための保育園の設置を提案する。
既存施設の活用に関する提案	解体して新築を提案する。
事業期間、対象物件の購入等の諸条件に関する提案	⑴ 既存施設の解体、新規施設の建築、各種設備の搬入のため、事業開始は令和１０年度目途を提案する。 対象物件については購入を提案する。 ⑵ 事業開始は令和１０年度目途を提案する。 対象物件については購入を提案する。
事業の実施に当たって市に期待する支援や配慮してほしい事項	⑴ 既存施設の解体に相当費用が必要と思われる。 そのため、土地購入費用からその相当費用を差し引くか、補助金の交付を配慮していただきたい。 ⑵ 障がいにより保育園に通うことが難しい子どもがいるため、市の協力や支援が必要である。

７　サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングにより、具体的な利活用方法についての御意見をいただきましたので、今後、その御意見を踏まえながら公募条件の整理・検討を進めます。